

KCL注適応外使用の治療指針	
治療内容	低カリウム血症に対する高濃度注射用カリウム製剤の使用
医薬品名称	KCL注20mEqキット
対象者	当院で治療を受ける患者で、低カリウム血症を呈した患者
概要	<p>【目的】 KCL注20mEqキットの添付文書には下記の記載があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.カリウムイオン濃度として40mEq/L以下に必ず希釈 2.投与速度はカリウムイオンとして20mEq/hrを超えないこと 3.カリウムイオンとしての投与量は1日100mEqを超えないこと <p>しかし、輸液量を減らす必要がある場合や速やかな補正が必要な場合には、添付文書の規定を超えた高濃度で使用することがあり、当院では以下のように規定を定めています。</p>
	<p><u>一般病棟、救急外来、透析室での上限</u></p> <p>濃度：カリウムフリーの500mL輸液+KCL注キット製剤1キット (20mEq) まで 速度：輸液ポンプを使用し、20mEq/hr以下を厳守 総量：輸液に含まれるカリウムイオンも含めて100mEq/日以下</p>
	<p><u>手術室・ICU・CCU・HCU・SCUでの上限</u></p> <p>濃度：250mL輸液+KCL注キット製剤2キット(40mEq)まで ※添付文書上の濃度より約4倍濃いため中心静脈を経由すること 速度：輸液ポンプを使用し、20mEq/hr以下を厳守 ※但し心臓血管外科治療時に限り、手術室においてはシリンジポンプも使用可能とする。 総量：輸液に含まれるカリウムイオンも含めて100mEq/日以下</p>
	<p>【想定される不利益】 高カリウム血症による不整脈や心停止、刺入部トラブル、血管痛</p>
	<p>【対策】 適宜カリウム濃度を確認し、継続の必要性、用量変更について検討し、有害事象が発生した際は適切な処置を行います。</p>
問い合わせ先	〒350-1305 埼玉県狭山市入間川2丁目37番20号 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院 電話番号 04-2953-6611 (代表) 主治医または病院薬剤師にお申し出ください